

「教団側がいろいろな材料を持ってくる。小田にしつこく搔きあつてくるのではないか」。盛田正仁文部科学相の7日の参院予算委員会での質弁です。新たに「小田」とされた材料の一つが、盛田のものとされる署名が入った統一協会(世界平和統一家庭連合)側との「推薦確認書」の写真でした。

これまで盛田は、2021年総選挙のときに協会側との推薦確認書に署名し、選挙支援を受けたと報じられてきましたが、いずれも「記憶になら」「確認できなかつた」と否定してきました。

これが、「朝日」が署名入りの推薦確認書の写真を報道。7日の参院予算委で追及され

たのは、「正直記憶にない」としながら、「推薦確

認書に署名したのではないかと考えられる。私の署名だとしている」と次々

認めめたのです。また、統一協会のダミー団体が22

年3月に開いた総会で団体を称賛するあいさつを

したものの動画まで複数

の民放テレビで報じられました。

それでも盛田文雄首相

は7日の参院予算委で「元を手続き職責を果たしてもらいたい」と改めて

更迭を拒否しました。

文科省は7日、解散令

が請求された宗教法人の

資産の流出を防止する特

別法に基づき統一協会を

資産監視の対象とする

「指定宗教法人」に指定

されました。しかし、財産

の漏洩や散逸の恐れなど

宗教法人には指定しませんでした。

問題なのは、盛田が

書うようなく、協会側に

「いろいろな材料」を握

られ、「搔かれて」てい

る人物が、解散命令請求

を所管する文科相の地位

にある異常な実態です。

これらの手続きにあたる

文科相たは「一点の靈りも

あってはならず、盛田氏

は当然辞めさせなければ

なりません。

一団体アシップとの面会

写真が報じられるなど、

協会側が握る「材料」で

辞めさせられない豊田

首相の「立場」が厳しく

ある場合の「特別指定

(林信誠)